

校長室だより



令和 7 年 7 月 1 日

第 2 号

白井市立白井第一小学校

校長室

=読書チャレンジ ご家庭で読書を楽しみませんか=

本を読むことのメリットを考えることは、「なぜ学ぶのか」ということを考えることと似ています。様々な考え方や捉え方がありますが、本を読むことで、世界を知り、深く物事を考えることができるようになります。深く考えることは、豊かな人生をつくることにつながります。そして何より楽しい、面白い。

白井第一小学校では今年度から、毎週水曜日に朝読書の時間を設けています。

さらに、本が身近にある生活を作り、子どもたちに本を読む習慣を身につけさせるためには、ご家庭の力が必要です。これを機会にご家庭と一緒に読書をする時間をとってみてはいかがでしょうか。

これからの学習の形とは ～学習形態をグループに!～

今後の世の中は、日本政府が提唱する「ソサイエティ 5. 0」時代になってきています。これは、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、仮想空間と現実空間を融合させた、いわゆる「超スマート社会」です。この時代は、日々技術革新が進み、これからどのように変わっていくのか「予測困難な時代」と言われています。よって、これからの社会は、学校で詰め込んだ知識だけでは成り立たない。つまり、学校は「どのように学ぶか」を身につけるところになってきています。

実際、普段の授業の様子を見てみると、指導方法は、かなり変化してきていると思います。知識を獲得するだけの授業から、友達と協力して課題を解決する「協働的な学び」を意識した学習へと変わってきています。

○一人一人で行っていた席よりも、グループで座ることで、**周りに相談**できる関係性を作ることができます。

○グループ活動に慣れてくることで、グループで活動する予定のない授業でも、**自然に相談**しあうようになります。



○自然に相談できるように「**分からない**」と言える雰囲気を作ります。



・ これからの世の中は、学校で習っていないことであふれてきます。(例えば 20 年前にこんなにスマホが進化し、浸透すると想像できましたか?) つまり、「分からない」ことがたくさんある社会で生きていくために、「分からない」と、**他者に伝えることができる**ことは大事!

一小的きらり

5/13(火)に白井中学校区合同学習会「はじめましての会」が白井第二小学校で行われました。あおぞら・ひばり学級の皆さんは、はじめの言葉をおもしろおかしく表現してくれました。漫才のように掛け合いを入れて楽しかったです。



5月21日(水)の第三部会陸上競技大会(白井市・印西市 27校参加)では、冬からの練習の成果を発揮し、「いちっこ」の代表として立派に参加してきました。学校でも、児童みんなで応援しました。きっとみんなの気持ちは選手に届いたことでしょう。



5年生は、6月10日(火)～11日(水)に小見川自然教室に行ってきました。スローガンは、「みんなで絆を深めて 最高の思い出を作ろう」であり、子どもたちはしおりを読み、自分たちで考えて行動をしていました。今は何をすべきか、次は何をする予定なのか、みんなで協力して取り組んでいました。

キャンプファイヤーからキャンドルファイヤーに変更となったので、子ども達は、がっかりしているのかなと思いきや、とても楽しそうに活動していました。



おっかなびっくりですが、おもしろい!



駆けつけた先生も参加させてもらいました!



どんどん燃えろー!

6/7(土)に市PTAバレーボール大会が行われました。白井中学校区3校の合同チームで出場し、気の抜けない覇気のあふれる試合を展開してくれました。

